

令和4年度第3回障害者市民施策推進協議会における追加意見等に対する回答について

意見等	回答
<p>現在の考え方は、最大公約数を優先し、個別性の高いニーズがある人は切り捨てると言うご回答です。生理的欲求である排泄行為を諦めろ、と言われていているということです。人間扱いされていないと感じ、非常に悲しく思います。個別性の高いニーズがある人が使えるトイレは、誰にとっても使えるトイレです。限りある資源の中で整備していく過程では、時間がかかるかもしれませんが、集中的に1年に数カ所公園のトイレを改修するのではなく、丁寧に1つずつ改修していくという手段も取れるはずです。</p> <p>また、今日の話でもありましたように、人が集中するような公園に特化して、オリジナルの多目的トイレを整備していくというのも1つの現実的な選択肢です。</p> <p>十把一絡げに、個別性の高いニーズのある人は、公園の多目的トイレ利用からは排除すると言う手法は取り下げてください。</p>	<p>現在実施している公園トイレの改修工事は、利用者の特に多い公園や一時避難地となっている公園など、真に必要な公園を選定し、国の交付金などの財源を確保し市の負担を極力減らしながら進めています。</p> <p>市内56箇所ある公園トイレのうち、バリアフリートイレの設置は約36%、その多くが市の中央部に位置しています。また、バリアフリーの設置にかかわらず多くのトイレの老朽化が進んでいるのが現状です。</p> <p>現状を改善するため、さまざまなご意見、考え方があることは承知しております。みどりまちづくり部としましては、市の東部や西部にお住まいのかたも、市の中央部にお住まいのかたと同様に、ご自宅近くの近隣公園などのトイレをご利用いただけるかたが増えるよう、まずは整備を進めていきたいと考えております。</p> <p>加えて、既にバリアフリートイレの設置がある市の中央部にある公園のトイレも美装化など環境の改善に努め、令和5年度末時点で全公園トイレのうち約50%にバリアフリートイレの設置をめざしています。</p> <p>限りある財源の中で一部ご不便をおかけすることになり大変申し訳ありませんが、何卒、ご理解を賜りますようお願いいたします。</p>
<p>介助者の大半は右利きです。よって便器左側へのアプローチとなります。最低限、便器に座って左側にスペースがあり、跳ね上げ手すりとなるように留意ください。</p> <p>(10/5 肢体不自由児父母の会より)</p> <p>公園トイレには、必ず両側からの介助スペースを設定してください。</p>	<p>公園に設置されるバリアフリートイレは、緊急時に外側から開錠することが想定されており、扉を開けた際にトイレ使用者が外から極力見えないよう設計されているため、便器の設置は、扉の対角線上に設置されています。</p> <p>いただいたご意見などを基に、構造上可能な範囲で扉や便器の位置を変更し、便器左側へのアプローチができるよう改善を図りました。最低限の対応となり大変申し訳ありませんが、何卒、ご理解を賜りますようお願いいたします。</p>

令和4年度第3回障害者市民施策推進協議会における追加意見等に対する回答について

意見等	回答
<p>全部の公園に介護ベッドを設置して欲しいとは思っていないが、みのお祭りなど市民が多く集まる公園である芦原公園は、多くの障害のあるかたが利用する可能性があるため、介護ベッドを設置してほしい。</p> <p>中央学習センターのバリアフリートイレは、さまざまな機能を盛り込んでいるため必要な回転径を確保できていない。そのため、利用しにくい。そのような人のために、公園に条件を満たしたトイレの設置が必要だと思う。</p> <p>(10/5 肢体不自由児父母の会より)</p> <p>公園トイレには、介護用ベッドも必ず設置してください。</p>	<p>いただいたご意見を基に、芦原公園のトイレに介護ベッドを設置することについて、再度、検討及び関係室などと調整を行いました。</p> <p>結果、トイレの構造上介護ベッドの設置自体は可能なものの夜間や祝日など施設閉館時における職員等による管理は非常に難しく、介護ベッドの設置に伴い、新たな管理費用が発生するなどの理由から、ご要望にお応えすることはできません。</p> <p>なお、箕面市としましては、職員が常駐する公共施設には介護ベッドを適切に配置し、安心してご利用いただける環境を提供することが望ましいと考えております。今回の中央生涯学習センターのバリアフリートイレの課題については、担当部署への情報提供を行ってまいります。</p> <p>何卒、ご理解を賜りますようお願いいたします。</p>